

項目	確認事項	届出内容
基本情報	大学等名1(代表大学等)	長浜バイオ大学
	大学等名1(代表大学等)※カナ	ナガハマバイオダイガク
	大学等名2(連携大学等)	
	科目名	インターンシップ実習
	学部・研究科等名	バイオサイエンス学部・バイオサイエンス研究科
	担当教職員名・役職	大島 淳 教授植月 太一 教授
	受講者数(H28年度実績)※インターンシップ参加者数	24
	受入企業等数	19
	受入企業等名	(株)伊賀の里 月桂冠(株) 滋賀県立成人病センター研究所 高橋金属(株) 羽島顆粒工業(株) (株)橋本クロス 浜理薬品工業(株) (株)日吉 (株)びわ湖センター マリンフード(株) ワケンビーテック(株) 和光純薬工業(株) 小澤農園(株) 厚生産業(株)滋賀県 長浜市 彦根市 愛媛県
	インターンシップの分類	4.他県をまたぐ広域インターンシップ,8.地元企業・経済団体や地方公共団体等との協働による地域密着型のインターンシップ
上記以外のインターンシップの分類(記述欄)		
要素①	1-1.当該インターンシップは、就業体験を伴うものになっていますか。	1.はい
	1-2.該当する就業体験	1.企業等における業務への従事,2.企業等における課題の解決(例:ワークショップ、PBL型プログラム、課題解決ワーク、課題事例研究等)
	1-2.以外での就業体験の内容(記述欄)	
	1-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	農畜産物の生産・加工・販売、酒類製造販売、研究機関での補助業務、食品製造・医薬品中間体製造補助業務、環境保全・試薬・理化学機材製造販売補助業務等に従事する。
要素②	2-1.当該インターンシップを正規の教育課程の中に位置付け、シラバス等において、インターンシップの実施目的や期待する教育的効果を明確にしているなど、体系的なプログラムとして単位認定が行われていますか。	1.はい
	2-2.該当するインターンシップの内容	2.当該インターンシップは、キャリア教育科目として実施している,6.当該インターンシップは、選択科目として実施している,8.当該インターンシップは、休業期間中に実施している
	2-2.以外で実施しているインターンシップの内容(記述欄)	
	2-3.当該インターンシップを実施する年次(記述欄)	学部3年次・修士1年次
	2-4.当該インターンシップで付与される単位数(記述欄)	1単位
	2-5.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	「インターンシップ実習」は、3年次のキャリア教育科目(選択)として開講している。4月～5月に公募を開始し、夏期集中科目として実施している。
要素③	3-1.インターンシップの実施前の学生・企業双方との目標設定や目的のすり合わせや、実施後の振り返り等を行うなどの適切な学修の時間が設けられていますか。また、インターンシップの教育的効果が発揮されるようインターンシップ期間中に適切なモニタリングを実施していますか。	1.はい
	3-2-1.該当する事前学習の内容	1.学生に対して、社会人としてのマナーや守秘義務の遵守、パソコンの使用方法等を身に付ける授業等を行っている,2.学生が受入企業の事業内容等に関する事前の調査・研究を行っている,3.学生に対して、インターンシップにおける成果目標の確認や行動計画等の策定を行っている,4.学生に対して、正規の教育課程としてのインターンシップの実施目的や期待する教育的効果の理解を促している
	3-2-1.以外で実施している事前学習の内容(記述欄)	
	3-2-2.該当する事後学習の内容	1.日報やレポート等を用いて、現場での体験の振り返りを行っている,2.報告会等により、インターンシップの成果について、受入企業や担当社員へのフィードバックを行っている,3.振り返りを実施し、成果目標等の達成について確認を行っている
	3-2-2.以外で実施している事後学習の内容(記述欄)	
	3-2-3.該当するモニタリング	1.インターンシップ中に、教職員が定期的に企業等に赴き、学生と面談を実施している
	3-2-3.以外で実施しているモニタリングの内容(記述欄)	
	3-3-1.事前学習の内容に関する詳細(記述欄)	インターンシップ実習への課題意識、心構え、リスクマネジメント、目的確認シート記入、マナー講座(コミュニケーション、ロールプレイング、自己分析、訪問時のマナー、ビジネス文書)、受入先が実習生に望むことなどを2日間で学ぶ。
	3-3-2.事後学習の内容に関する詳細(記述欄)	実習体験報告、実習報告書(企業用)、提出等
	3-3-3.モニタリングの内容に関する詳細(記述欄)	
要素④	4-1.インターンシップの教育的効果を定量的・定性的に把握できる手法・仕組みを取り入れていますか。	1.はい
	4-2.該当する教育的効果を測定する仕組み	1.アンケートやレポートの作成をインターンシップの実施前後で実施し、学生の意識や行動の変容について確認を行っている
	4-2.以外で実施している教育的効果を測定する仕組み(記述欄)	
	4-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	事後学習用シート記入、グループディスカッション、実習レポート作成
要素⑤	5-1.一定期間のまとまりのある連続した5日間以上のインターンシップの実施期間を確保していますか。	1.はい
	5-2.該当する実施期間	1.連続した5日間以上の実施期間を確保している
	5-2.で「1.連続した5日間以上」を選択した場合(記述欄)	実習期間5日間～12日間
	5-2.で「2.事前・事後学習を合わせて5日間以上」を選択した場合(記述欄)	
	5-2.で「3.複数の企業等を合わせて5日間以上」を選択した場合(記述欄)	
	5-2.以外の実施期間の内容(記述欄)	
	5-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	夏期休暇期間中(8月中旬～9月下旬)に、5日間～12日間の就業体験を行うとともに、事前学習(2日)、事後学習(1日)を実施している。

要素⑥	6-1.大学等と企業の双方が関与し合い、学生に対する教育的効果の最大化に努めているなど、大学等と企業が協働してプログラムを設計していますか。	1.はい
	6-2.該当する大学等と企業の協働取組の内容	1.企業や産業界にとっての意義やメリット、必要な成果等を考慮し、企業と協働してインターンシッププログラムを設計している。3.企業担当者が学生に対して適切に関与し、目標達成に導くなど、大学として必要な支援を行っている。4.受入企業等も、インターンシップ中の学生に対する評価を実施している
	6-2.以外で実施している大学等と企業の協働取組の内容(記述欄)	
	6-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	大学の教育・研究・地域貢献に関わりの深い地元企業と協定を締結して実施している。就職時に学生の多くが志望する医薬系・食品系・化学系・環境系・IT系分野での就業体験を充実させるとともに、卒業後の進路において希望業種や地元企業での活躍を期待している。
	7.上記①～⑥で回答した各要素の内容について、詳細が記載されているシラバスなどの資料が閲覧できる大学等のウェブサイトのURL	<a href="http://gww.happywinds.net/nbio-syllabus2016/view.asp?msg_no=455">http://gww.happywinds.net/nbio-syllabus2016/view.asp?msg_no=455</a>
問い合わせ先	大学等名	長浜バイオ大学
	担当部署名	学生教育推進機構事務室 学習・就業力支援担当
	担当者役職名	
	担当者氏名	
	電話番号	0749-64-8132
	メールアドレス	shien-senter@ml.nagahama-i-bio.ac.jp